

**大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」  
令和2年度 助成対象の研究の決定について**

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、令和2年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下のとおりです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議が務めました。

**◆応募状況**

令和2年4月1日から4月30日の募集期間において、「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に、16件の応募がありました。

**◆選考委員会概要**

開催日：令和2年6月26日（金）15時15分～16時45分  
三宮研修センター 8階801号室

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 12名  
（特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議企画委員）

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

**◆選考結果**

選考委員会において厳正な審査が行われ、その結果、16件の応募のうち、今年度の助成対象として次表の7件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

申請者名 (五十音順)	所属機関名称 及び役職名	助成研究テーマ
1 阿見彌 典子	北里大学 海洋生命科学部 講師	生理学的基盤を指標としたイカナゴの新しい資源管理法の確立(その2)
2 植木 尚子	岡山大学 資源植物科学研究所 准教授	赤潮形成を促進する海洋細菌の単離同定と、赤潮動態予測法の開発(その2)
3 梅原 亮	広島大学 環境安全センター 助教	DNAメタバーコーディングによる大阪湾の動物プランクトンモニタリング手法の開発(その2)
4 齋藤 光代	岡山大学大学院 環境生命科学研究所 准教授	流域圏の土地利用変遷および洪水流出を考慮した大阪湾への長期栄養塩流出量の推定(その2)
5 中尾 賢志	大阪市立環境科学研究 センター 研究員	都市系面源由来マイクロプラスチックの海域への負荷量推定
6 西谷 豪	東北大学大学院 農学研究科 助教	大阪湾から発見された寄生生物が麻痺性貝毒原因プランクトンのブルーム動態へ与える影響の解明
7 劉 文	京都大学 地球環境学堂 特定助教	大阪湾湿地帯における有機物分解システムの解明—湿地帯生物の難分解性有機物分解能の把握と湿地帯健康度評価の試み(その2)